

ハンドアウト

名前:PC①

使 命

家が近いこともあって、あなたは本当の兄弟のようにお兄ちゃんに可愛がられてきた。
あなたもお兄ちゃんを慕っていた。

胸の奥がざわつく。お兄ちゃんが何故死んだのか確かめられない限りこの「ざわざわ」は消えない。

あなたの使命は「お兄ちゃんの死のいきさつ」を確かめる事だ。
他の誰かから聞かされるのではなく、あなた自身の目と耳で。

秘密

ショック:無し

ほんの冗談のつもりだった。二日前、お兄ちゃんに言ったのだ。

「ねえ知ってる？ ムラサキカガミって言う言葉、20歳になる前に忘れないと死んじゃうんだって」

あなたはお兄ちゃんが自分のせいで死んだのではないかと恐れている。
故に「ムラサキカガミ」と言う言葉を見聞きしたら、即座に《死》で恐怖判定を行わなければいけない。

あなたの本当の使命は「お兄ちゃんがムラサキカガミの呪いで死んだのか」確かめる事だ。

この秘密を自分から明らかにする事はできない。

ハンドアウト

名前:PC②

使 命

昨日、兄が死んだ。まだ実感がわかない。
お通夜の席には兄の友達は一人もいない。

胸の奥がざわつく。お兄ちゃんが何故死んだのか確かめられない限りこの「ざわざわ」は消えない。

あなたの使命は「お兄ちゃんの死のいきさつ」を確かめる事だ。
他の誰かから聞かされるのではなく、あなた自身の目と耳で。

秘密

ショック:見た者全員

死んだのは兄ではない。あなただ。
仏間に横たわる遺体はあなた自身。
死の直前で記憶が途切れ、気がつくとその姿で家に居た。
しかし家族も来客も誰も不審に思わない。
死んだのは『兄』だと認識している。
曖昧な記憶の中、強烈に「白い珠を探せ」と言う言葉が焼き付いている。
それは必ずこの屋敷のどこかにある。
あなたの本当の使命は「白い珠を見つける事」だ。

あなたは「怪異」だ。

あなた以外の者がこの秘密を知った場合、《死》で恐怖判定を行わなければいけない。

この秘密を自分から明らかにする事はできない。

ハンドアウト

名前: PC③

使 命

小さな頃から何度も訪れた本家の屋敷。
だが今日に限って強烈な違和感を感じる。

胸の奥がざわつく。お兄ちゃんが何故死んだのか確かめない限りこの
「ざわざわ」は消えない。

あなたの使命は「お兄ちゃんの死のいきさつ」を確かめる事だ。
他の誰かから聞かされるのではなく、あなた自身の目と耳で。

秘密

ショック: 無し

おかしい。何かが変だ。
あなたはプライズ【違和感】を所持している。

お兄ちゃんの死を知らせる電話を受けた時、あなたは母親と一緒に居た。
そして見てしまった。

彼女の顔に一瞬浮かんだ凄まじいほほ笑みを。

この顔、見た記憶がある。

そうだ。お兄ちゃんの死の前日、あなたの母親は一人で本家を訪れた。
帰ってきた直後に同じ顔で笑っていた。

あなたの本当の使命は「母親が何をしたのか知る事」だ。

この秘密を自分から明らかにする事はできない。

ハンドアウト

名前:

使 命


秘密

ショック:


この秘密を自分から明らかにする事はできない。

「ムラサキカガミ」ハンドアウト 1/2


Handout	
名前	母屋
概要	
<p>線香と菊のにおいが漂う。部屋を仕切る襖が取り払われ、やけに広々と。そして寒々しく感じる。奥座敷からお通夜と称したバカ騒ぎ。手伝いで来ている近所のおばさん。顔も名前もロクに知らない人たちが楽しげにズカズカと歩き回る。</p>	

Handout	
秘密	
ショック	PC①
<p>話を聞いてしまう。 「ねえ、知ってる？ ムラサキカガミって言葉、20才までに忘れないと死んじゃうんだって」 「ヤッダー、来月までに忘れないとアタシ死んじゃう！」 「なーに30才もサバ読んでんのさ！ でも大丈夫。赤い沼って言葉を知ってりゃ死なずにすむんだよ」 「白い珠じゃなかったっけ？」 「ま、噂だからねえ」</p>	
<p>この秘密を自分から明らかにすることはできない</p> 	


Handout	
名前	はなれ
概要	
<p>PC3と家族の泊まっているはなれ。八畳の和室に板の間とトイレがついている。中央には座卓が置かれ、畳の上にはカバンに入った荷物が置かれている。</p>	

Handout	
秘密	
ショック	
<p>拡散情報 座卓の上に、布でできた丸っこい形のものはいくつか置かれている。 傍らには小さなクッキーの缶。 ハンドアウト「お手玉」が公開される。 ハンドアウト「クッキー缶」が公開される。</p>	
<p>この秘密を自分から明らかにすることはできない</p> 	


Handout	
名前	お手玉
概要	
<p>色とりどりの端切れで作られた依型の小さな玩具。 二つ、三つと両手で交互に放り投げ、受け止めて遊ぶ。 おや、一つだけ手触りがおかしいぞ？</p>	

Handout	
秘密	
ショック	PC② (登場していた場合)
<p>拡散情報 触れると意外に重い。昔これで遊んだ時の記憶が呼び覚まされる。 ハンドアウト「お手玉唄」が公開される。 お手玉の一つをほどくと、中から妙な物が転がり出す。 最初にこの秘密を開けた者はブライズ「白い珠」を手に入れる。</p>	
<p>この秘密を自分から明らかにすることはできない</p> 	


Handout	
名前	お手玉唄
概要	
<p>お手玉をする時に口ずさむ、わらべうた。 いちばんはじめは一の宮 二は日光東照宮 三は鎌倉のてんびらさん 四(し)は信濃の善光寺 五つ出雲のまみやしる 六つ…… あれ、六は何だったっけ？</p>	

Handout	
秘密	
ショック	
<p>拡散情報 ほとんどの地方では「六つ村の天神さん」。だから君たちの慣れ親しんだ唄はちょっとちがってる。 「六つムラサキ水神さん」 ハンドアウト「水神の祠」が公開される。</p>	
<p>この秘密を自分から明らかにすることはできない</p> 	

Handout	
名前	水神の祠
概要	
<p>屋敷の裏庭にある池のほとりに建てられた小さな祠。灰色に色あせ、鳥居もしめ縄も無い。 両開きの格子戸は固く閉ざされ、頑丈な南京錠で封じられていたはずなのだが？ 錠前が壊されている！ 周辺には華奢な足跡。女性のものだろうか。</p>	

Handout	
秘密	
ショック	
<p>拡散情報 これは「巳いさん」、つまり蛇神を祀った祠だ。 中には桐箱が収められている。蓋を開けると紫の布包みが出てきた。だが開くと中は空っぽだ。 中央には丸いくぼみ。内側の布の色は濃く、外側は色あせている。 箱の縁に長い黒髪が引っかかっている。</p>	
<p>この秘密を自分から明らかにすることはできない</p> 	

Handout	
名前	クッキー缶
概要	
<p>細長い長方形のクッキー缶。手にするとずっしりと重い。表面は古びていて、使い古された物だとわかる。 中には糸と、縫い針とマチ針をびっしり刺した針山、そしてハサミと色とりどりの端切れが入っている。 どうやら裁縫箱として使われているらしい。お手玉に使ったのか、小豆の入ったジップロックの袋もある。</p>	

Handout	
秘密	
ショック	見た者全員
<p>針山を裏返すと小さく折り畳んだ紙が貼り付けられる。外して広げると、乱雑に書きなぐられていた。 本家の奴らはみんな死ぬね！ ムラサキカガミ ムラサキカガミ ムラサキカガミ ムラサキカガミ ムラサキカガミ、ムラサキカガミ、ムラサキカガミ、ムラサキカガミ、ムラサキカガミ、ムラサキカガミ、ムラサキカガミ、ムラサキカガミ、ムラサキカガミ、ムラサキカガミ</p>	
<p>この秘密を自分から明らかにすることはできない</p> 	

「ムラサキカガミ」ハンドアウト 2/2

Handout		Handout		Handout		Handout	
名前	蔵	秘密		名前	昔話	秘密	
概要		ショック		概要		ショック	見た者全員
<p>白い壁の古い蔵。 中は薄暗く、小さな窓と開けた扉から差し込み明かりだけが頼りだ。 紐できっちりくくられた古い本や新聞紙、雑誌、その他中味もわからない箱がいくつも積み上げられている。</p>		<p>拡散情報 歩いているとバサッと音を立てて本が一冊落ちて来た。 シミだらけの古い本。表紙には「五色沼町の民話と伝説」と書かれている。 旧仮名づかいがわかり辛いのでどうにか読めそうだ。 ハンドアウト「昔話」が公開される。</p> <p>もしかしてこの本、最近誰かめ読んだ？ 丁寧に埃を払った形跡がある。</p>		<p>昔、ある男が小さな白蛇を助けた。 その夜、美しい娘が甦れて一夜の宿を乞う。 一夜が二夜に、三夜、四夜と日を重ね、二人は夫婦になった。 やがて子が宿るも妻は出産の時に大蛇の本性を夫に見られてしまう。 「正体を知られてはもうお傍にはいられません」 妻は子を残して沼に帰る。乳の代わりにしゃぶらせよと、白い珠を残して。</p>		<p>白い珠は庄屋に奪われた。飢えて泣く子を見かねて父親は、取り戻そうと庄屋の家に忍び込み、捕えられて処刑された。 赤子も死んだ。 以来、大蛇の呪いで庄屋の家系は早死にが繰り返ようになった。</p> <p>大蛇の産むのはカガミ沼。 女の名は紫（むらさき）。 庄屋の家は野辺。君たちの先祖だ。 ハンドアウト「カガミ沼」が公開される。</p>	
		この秘密を自分から明らかにすることはできない				この秘密を自分から明らかにすることはできない	

Handout		Handout		Handout		Handout	
名前	カガミ沼	秘密		名前	プライズ：違和感	秘密	
概要		ショック	全員	概要		ショック	
<p>屋敷の近くの森の中にある、差し渡し300mほどの沼。しかし地図上に表示される名前は「五色沼」。 遊歩道が整備され、犬の散歩やウォーキング、観光客で賑わう場所。 しかしどこか暗い霧りの潜む水。 この季節、夕焼けの空と周囲の紅葉を写して沼の水面は真っ赤に染まる。</p>		<p>拡散情報 池のほとりに古びた看板がある。日く、四季折々、時の流れを写して色を変える様からかつては「鏡沼」と呼ばれていた。</p> <p>沼の浅瀬には古い木の鳥居がある。 お兄ちゃんの遺体はその根元で見えられた。 そこは、お兄ちゃんの死んだ場所。 全員《死》で恐怖判定を行う事。</p>		<p>PC2に兄はいない。自分たちは全員一人っ子のはずだ。 それにPC2はもともと年上だったはずだ。確か20歳。本家で盛大にお祝いをした。 「また、本家がこんなに無駄な大騒ぎを」母が苦々しげに言っていた。 では、この葬式は、誰の？ このプライズを誰かに奪われた場合、あなたの抱く違和感の正体が知られた事になる。</p> <p>※このプライズに秘密は無い</p>		<p>この秘密を自分から明らかにすることはできない</p>	
		この秘密を自分から明らかにすることはできない				この秘密を自分から明らかにすることはできない	

Handout		Handout		Handout		Handout	
名前	プライズ：白い珠	秘密		名前		秘密	
概要		ショック		概要		ショック	
<p>半球型の白い珠。元は球体だったのだが、割れてしまったらしい。 割れ口はきれいに水平で、鋭い。 とろりとした半透明で、表面はなめらか。ムーンストーンに似ている。 手に持つとじつとりにしていて、まるで生き物の体の一部のような。</p> <p>※このプライズに秘密は無い</p>		<p>この秘密を自分から明らかにすることはできない</p>				<p>この秘密を自分から明らかにすることはできない</p>	
		この秘密を自分から明らかにすることはできない				この秘密を自分から明らかにすることはできない	

【シーン表：ほのぐらい日本の屋敷】

※このシナリオではオリジナルのシーン表を使います。

※PCがカガミ沼に移動した場合は心象風景、記憶が蘇った、家を出る直前にこう言う事があった……等、調整してなじませてください。

2	どんなに窓を開けても。どんなに明かりを灯しても、この家にはどこかに陰が残る。
3	思い出したくない事がもやもやと、記憶の底から浮かび上がりそう。きっと、ここの臭いのせいだ。きっとそうだ。
4	誰が落としたのだろうか。それとも元からここにあったのだろうか。縁の欠けた瀬戸物の茶わんが一つ、ぼつんと転がっている。
5	子供の頃、よくかくれんぼでここに潜り込んだなあ……。息をひそめて、じっとしていた記憶。視点は今よりずっと低い。
6	視線を感じて振り向くと、黒猫が一匹。目が合うと一声「にゃあ」と鳴く。かぱっと開けた赤い口の中、白い牙が、光る。このシーンに登場しているPCは生命力か正気度のうち好きな方を1点、回復させて良い。
7	冷たい風が吹いてくる。足下から冷気がはい登る。夏は涼しいけれど、今の季節は寒い。どんなに火を点しても。どんなに太陽が照っている日も、この冷気は抜けない。
8	どこからともなく聞こえる、下品な女の笑い声。けたたましい。まるで超音波。脳に刺さる。あの中に、お兄ちゃんの友だちは誰もいない。
9	小鳥のさえずり、庭木の葉擦れの音、土のおいが不吉な死の残り香を洗い流してくれる。ほっとするね。
10	厚く垂れ込める鉛色の雲が途切れ、金色の日の光が一筋。さしこみ、灰暗い薄闇を切り払う。けれど風が吹けばまた雲が来る。明るさを知ってしまった後の闇は、一段と強く、深い。
11	線香の臭いが濃くなり、仏前のリンの音が鳴り響く。また誰か、弔問客が来たようだ。
12	ボロボロに煤けた人形が落ちている。何てこと無い、ありふれたオモチャ。でもこんなの売ってるの、見たことない。買ってもらった覚えも無い。